

『林業普及現地講座』を開催しました (岩泉地方林業普及協会主催)

1 開催概要

岩泉地方林業普及協会では、去る7月25日、会員と地域の森林・林業関係者(以下「関係者」という。)相互の連携を図り、地域一体となつての林業の活性化と、参加者が共通意識を持って林業の振興に取り組むことを目的として、林業普及現地講座を開催しました。

講座には、普及協会の会員をはじめ、会員以外の方も含め、30名の参加がありました。

2 現地講座の概要



現地講座は、「情報提供」と「意見交換」の2部構成とし、情報提供では、①「岩手県の林業人材育成及び再造林対策」千田上席林業普及指導員が、②「松くい虫被害及びナラ枯れ被害の状況」熊谷技師が、③「ツキノワグマの出没に関する注意報」について佐々木技師が、それぞれ講演を行いました。



3 意見交換

情報提供の後には、会場を移し意見交換会を開催しました。

情報提供の席では、なかなか質問は出ませんでしたが、膝を交えての席では質問や意見交換が活発に行われました。特に、今年開講した林業アカデミーへの関心が高く、出席した林業事業主からは人材確保等について、「第2期生の募集時期や研修の内容、取得できる資格」など、活発な意見交換が行われました。

4 おわりに

今回の現地講座では、県から情報を発信するだけでなく、意見交換により関係者の意見も聞くことができ、大変有意義なものとなりました。

これからも、現地講座等の場を利用して、情報提供・意見交換を行いながら、地域の林業活性化を図って行きたいと思います。